

# 【真庭市教育委員会】

## 校務 DX 計画

真庭市では、GIGA スクール構想に基づき、令和 2 年度から ICT 環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとします。

### 1. クラウドサービスの活用促進

- ・次世代校務支援システムの導入完了（令和 11 年度まで）に向け、令和 8 年度までに統合型（クラウド型）校務支援システム導入の検討を進める。
- ・教職員に対して、クラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関する研修を実施し、情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

### 2. 校務 DX 推進体制の構築

- ・教職員の ICT 活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するため、継続して「ICT 支援員」を配置する。
- ・外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。
- ・教職員向けの生成 AI 活用について情報提供及び研修を実施する。

### 3. FAX・押印の見直し

- ・行政機関や外部事業者との連携を強化し、FAX、押印のやり取りの見直しを徹底することでペーパーレス化を推進する。

### 4. 不必要な手入力作業の一掃

- ・校務支援システムへの名簿情報の入力については、データを取り込む仕組みとなっているため、すでに実施済みである。

### 5. 服務に関する手続きの電子申請化

- ・現在、紙申請で行っている休暇、出張等をグループウェアの機能を使用して電子申請、承認を実施し、事務負担の軽減及び業務の効率化を図る。

### 6. ペーパーレス化の推進

- ・会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。
- ・デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。
- ・クラウドツールの活用による連絡の迅速化及び紙使用削減を推進する。